

キャンパス紹介

最近の薬学部新設ラッシュが始まる前までは、最も歴史が浅い大学だった摂南大学の薬学部(大阪府枚方市)。第1期生を輩出した1987年の国家試験から合格率トップは13回という実績を誇り、全卒業生の99%が薬剤師免許

摂南大学薬学部は大阪府寝屋川市にある本学(法・工学部など)とは別に、独立した15万3000㎡という恵まれたキャンパスで学問に打ち込める環境。その環境の中で、トップレベルの国家試験合格率を維持してきた。薬学部長の前田定秋氏は「薬学部で在籍した責務として、薬剤師の資格を取得するのは当然。その上で、研究マインドを持った人材の育成にも力を入れたい」と研究志向の人材を育てる方針も打ち出している。

今年入学した学生へのアンケートでは、8割は「薬剤師を目指したいから」という志望理由だったが、「新しい薬を作りたい」という理由で、薬学部を選んだ学生も15%ほどいた。

6年制の薬学教育はコアカリキュラムに従って教育していく中で、各大学は独自色も打ち出さなければ差別化が図れない。前田氏は「需要が見込まれている薬剤師だが、供給過剰の可能性や、医療業界にも思うほど雇用は生まれないとの意見も少なくない。薬剤師が活躍する職場は薬局や病院だけでなく、企業や大学で研究するなど、今まで以上に多様化が進むと考えられる」と見る。

6年制の医学部や歯学部でも基礎研究には力を入れており、薬学部でもできるはずと考える前田氏。早い段階で学生が研究室のスタッフとして加われるなど研究に取り組めるシ

を取得している。薬剤師の合格率だけでなく、就職のバックアップ体制も整えており、MRなど企業への就職率が全国平均を上回る。6年制一本の教育体制だが、研究面の充実も同大の売りにしていく考えだ。

摂南大学



薬学部がある枚方キャンパス

6年制でも研究に取り組める体制構築



前田学部長

ステムも作り上げる考えだ。

1学年240人の摂南大では5年次に「研究」「医療」「演習」の3グループ(各80人)に分ける

という他大学にはない特徴的なカリキュラムを用意している。従来の大学院と考え方を同じくする研究中心に取り組むコース、定められた実務実習のほか、期間を延長して実務経験を積む医療コース、基礎的学力を養い医療薬学の演習に重点を置く演習コースに分かれる。5年次に行う長期実務実習はこのグループ単位で行い、学内に残った学生は該当するコースに取り組む。

2年前には関西医科大学と研究や教育面での連携を図っている。研究室レベルの連携のほか、5、6年次には関西医大の医師や薬剤師による病態や治療に関する実務的な講義も予定し、教育面での協力体制も強化させる。

薬剤師の使命感も早期に植え付け

1年次前

期に「薬剤師になるために」という講義を設定。10人ほどのグループに分かれ、尊厳死や癌の宣告などのテーマを与えて、グループ内で討論・発表させ、コミュニケーション能力を養わせる。さらに病院や薬局、企業への早期実務体験実習を通じて、薬剤師の重

要性も認識させる。

高校と大学の橋渡しの授業として物理や化学、生物など基礎教育を行う「学習支援センター」を今年4月から設けたのも特徴。

学年が上がるにつれて学習につまずく学生を減らすため、入学時点で底上げを図る考え。また、それぞれの学生は1年次から講師以上の教員に付き、生活と勉強の両面をフォローアップする担任制が敷かれ、熱心な教育体制をとる。

熱心な教育体制



研究面も充実させ、研究志向の人材育成も

就職に強いと言われる摂南大。薬学部では就職支援も万全だ。1年次からスタートする就職指導体制で、各学生に将来ビジョンを描かせる。そのためもあ

ってか薬学教育協議会の調査と比べても、同大の企業への就職率は高い。

6年制移行に伴い、08年3月完成予定の3階建ての新館には模擬薬局、09年8月の図書館の拡充など、今秋から大規模な新築や現校舎の増改築を控えている。



5月に行われた1年生の早期体験実習の事前学習の様子

1年次から基礎学力を強化

薬物療法の安全性と
地域医療の向上のために...

望星薬局

私たち望星薬局は人々の

健康で幸福な社会生活を願い、

安全で有効な薬物療法のため、

たゆまぬ努力を続けています。

募集要項

募集職種：薬剤師資格取得予定者または薬剤師有資格者(修士を含む)
初任給：※平成17年度年収実績365万円以上(大卒)、385万円以上(修士卒)
交通費：全額支給
休日：4週6休、祝・祭日、特別休暇(年6日)、年末年始(6日)、慶弔、有給休暇(10～20日)
昇給：年1回 賞与：年3回(5ヶ月) その他：各種福利厚生、教育研修、学会発表

※採用に関するお問合わせ先：人事課／浦本太一郎 E-mail:jijin@bohseipharma.com TEL:0463-91-4193



株式会社 望星薬局

本社：〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-1-28
TEL：0463-91-4193 FAX：0463-91-8966
URL：<http://www.bohseipharma.com>

望星薬局ネットワーク

- 望星薬局
〒259-1143 神奈川県伊勢原市下糟屋96-2 TEL.0463(94)4193
- 望星本町薬局
〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原3-2-4 TEL.0463(92)1193
- 望星沼目薬局
〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台2-16-25 TEL.0463(92)4193
- 望星おね薬局
〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名1-2-1 TEL.0463(76)4193
- 望星沢沢薬局
〒259-1321 神奈川県秦野市曲松2-1-38 TEL.0463(87)4493
- 望星秦野薬局
〒257-0012 神奈川県秦野市立野台1-2-4 TEL.0463(85)1193
- 望星大磯薬局
〒259-0114 神奈川県中郡大磯町月京30-18 TEL.0463(71)9341
- 望星平塚薬局
〒254-0062 神奈川県平塚市富士見町8-44 TEL.0463(33)1193
- 望星春日台薬局
〒243-0302 神奈川県愛甲郡愛川町春日台3-6-42 TEL.046(286)4193
- 望星横浜みどり薬局
〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場1726-13 TEL.045(989)4193
- 望星築地薬局
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15 TEL.03(3541)1193
- 望星代々木薬局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-3-5 TEL.03(3370)1301
- 望星西新井薬局
〒123-0841 東京都足立区西新井6-46-16 TEL.03(5691)1193
- 望星北浦和薬局
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-9 TEL.048(822)9381
- 望星水戸薬局
〒310-0026 茨城県水戸市泉町2-3-2中央ビル6F TEL.029(222)1193



心臓部・サーバーの容量は13T（テラ）

「薬学教育モデルコアカリキュラム」に示された修得すべき項目は膨大だ。実務実習に当たっては、本来的には全項目の問題を出して能力を問う、というのがスジ。しかし「現実に即し、ランダムに抽出し、かつ全国の学生を試験できるシステムが必要」ということから、コンピュータを活用したCBTの導入が図られた。

このCBTのシステム作りは、昨年度から始まったが、「私の役割は、その一切適切です」と宮崎氏は話す。実は、その後の管理までが守備範囲であり、CBTを管理するための“中央サーバー”も、厳重なセキュリティのなか、東京理科大学薬学部校舎に設置されている。

宮崎氏は、東京理科大学理工学部情報科学科を卒業、理化学研究所、国立遺伝学研究所を経て3年前に母校に戻った。薬学の世界で未だ目新しいバイオインフォマティクスに取り組んでいる。ゲノム上の遺伝子データをはじめとする大量の生物学的データから、創薬の種となる新知見を、データベースとコンピュータ上のシミュレーションを駆使した仮想実験から抽出することを目指している。

ちなみに同研究室で駆使するコンピュータの心臓部・データベースサーバーは13T（テラ）の容量を誇る。ちなみに、13Tは1万3000G（ギガ）に相当する（1テラは1000ギ

CBTのキーマン

今年6年制に入学した薬学生は4年次に、初の共用試験を受ける。技能・態度をみるOSCEと知識を問うCBTからなるが、CBTは、個々の学生がコンピュータの画面上で“プール問題”の中からランダムに出題される問題に解答するもの。「自分だけ難しい問

題が出るんじゃないか？」という不公平が起こらないように、2009年、今から3年後の本番に向け、関係者は準備に大わらわだ。このCBTシステム作りのキーマンが宮崎智氏（東京理科大学薬学部生命創薬科学科教授）である。

ズームアップ

東京理科大学薬学部
生命創薬科学科教授

宮崎 智氏



ガバイト）

遺伝研時代、宮崎氏らのチームが構築したシステムを利用し、人間の21、22番染色体のゲノム情報が、世界に先駆けていち早く公開されたという実績を持つ。コンピュータの大規模展開、他で作られたデータを中央に集積し、ある程度の加工を行い再配分するというプログラミングに精通している。

このような薬学領域では稀な高い実力と経験とが買われ、CBTシステム構築の責任者にと白羽の矢が立った。

全てがゼロからのスタート。従って、問題作りから始まった。既に全国の大学の協力を得て、1万題ほどの問題が“中央サーバー”に蓄積され、現在、各分野の専門家200人が、問題の精選作業を進めている。領域別の平準化を終えた後は、実際の学生によるトライア

ゼロからの立ち上げ

ルを数回実施し「実測値」の結果も再評価に加える。その実測値を取るシステム作りも課題だ。「要するに走りながら物を作っている状況」と話す。

実践に向けては適切な出力・集計と、様々な処理システムを構築する必要がある。「全体として8割は解ける」を目指したい意向だが「各領域間での難易度のばらつき、難容問題の混在を考慮した出題組み合わせのためのパラメーターをどう設定できるかも課題」と、国試とは性格を異にするだけに、微妙な“さじ加減”の技量も問われる。

実際の試験は、ざっと1問1分のペースと想定されている。隣の学生とも出題は異なり「カンニングしている暇はない」と笑う。



CBTサーバー室を守るセキュリティ

「薬事日報」を
インターネットで

YAKUNET

YAKUNET

薬事日報データベース
Medical Academy NEWS データベース
DATABANK
YAKUNET Mail News

いまなら無料でYAKUNETが試せます

YAKUNETの「無料おためし」を申し込むと約1週間有効なIDとPASSWORDがE-Mailで送信されます。送信されたIDとPASSWORDで、YAKUNETを無料で試すことができます。

まずは <http://www.yakuji.co.jp/> にアクセス!



YAKUNETに関するお問い合わせ・申し込み

株式会社 薬事日報社
企画開発局電子メディア室

〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL: 03-5822-2455
E-Mail: info@yakuji.co.jp